

The 10th SONGAI KANTEI FORUM

記念大会

第10回 損害鑑定フォーラム

テーマ
「飛翔」
～記録と記憶を次の世代に～

会員一覧(本社所在地)

- 九州・沖縄地区**
 有限会社 赤坂鑑定事務所
 株式会社 インステック・アール
 有限会社 沖縄損保鑑定
 株式会社 共 和
 株式会社 三立鑑定
 株式会社 相 鑑
 株式会社 高本損害鑑定事務所
 株式会社 福岡損保鑑定
 株式会社 ホーネット鑑定
- 中国・四国地区**
 インフィニティ 株式会社
 黒崎鑑定社
 西日本鑑定 株式会社
- 関西地区**
 あおぞら総合鑑定 有限会社
 あずま鑑定
 大野鑑定事務所
 株式会社 かがやき鑑定
 有限会社 神戸天神鑑定
 有限会社 酒井鑑定事務所
 有限会社 さくら鑑定事務所
 株式会社 三和鑑定事務所

- 有限会社 高本鑑定事務所
 有限会社 天神鑑定関西
 株式会社 トラストクレームサービス
 阪和鑑定 合同会社
 湊損害鑑定 有限会社
 株式会社 若葉総合鑑定
- 中部地区**
 有限会社 菱鑑定事務所
 株式会社 アスカ総合鑑定
 有限会社 遠州損保鑑定事務所
 有限会社 グローバル鑑定事務所
 有限会社 静岡損保鑑定
 有限会社 高岡鑑定事務所
 株式会社 中部総合鑑定
 有限会社 つばさリスクアジャスティング
 有限会社 北陸損保鑑定
 株式会社 丸の内鑑定事務所
 みずほ鑑定 株式会社
 株式会社 名 鑑
 有限会社 大和鑑定
- 関東地区**
 合同会社 iCube
 株式会社 あずさ損保鑑定事務所

- 株式会社 甘糟鑑定事務所
 いるどり鑑定 株式会社
 内山鑑定 株式会社
 有限会社 共和鑑定
 株式会社 芝浦鑑定
 株式会社 湘南鑑定
 株式会社 中央損保鑑定
 株式会社 東 鑑
 東京損保鑑定 株式会社
 株式会社 永松鑑定事務所
 株式会社 みなと鑑定事務所
 有限会社 むさし野損害鑑定
 株式会社 山貴総合鑑定
 株式会社 横浜鑑定事務所
 株式会社 ライフ鑑定調査事務所
- 北海道・東北地区**
 株式会社 札幌鑑定
 株式会社 デーエム
 有限会社 道央損保鑑定
 株式会社 北海道鑑定
 杜の都鑑定 株式会社
 渡部鑑定事務所

Member

※エリア別・五十音順

役員一覧

会 長	太田 英俊 (株式会社 中央損保鑑定)
	伊藤 優 (株式会社 アスカ総合鑑定)
副 会 長	加藤 友好 (株式会社 名鑑)
	田中 公成 (株式会社 甘糟鑑定事務所)
専 務 理 事	永島 孝司 (公益社団法人 日本損害鑑定協会)
	岩泉 和則 (株式会社 東鑑)
	小関 忠司 (内山鑑定 株式会社)
	高本 吉孝 (株式会社 高本損害鑑定事務所)
	田辺 克久 (株式会社 北海道鑑定)
理 事	樽角 保洋 (株式会社 みなと鑑定事務所)
	永松 一剛 (株式会社 永松鑑定事務所)
	野田 昇一 (株式会社 かがやき鑑定)
	藤原 昌明 (株式会社 三和鑑定事務所)
	森下 泉 (株式会社 札幌鑑定)
監 事	野間 隆則 (西日本鑑定 株式会社)
	森園 哲之 (株式会社 福岡損保鑑定)

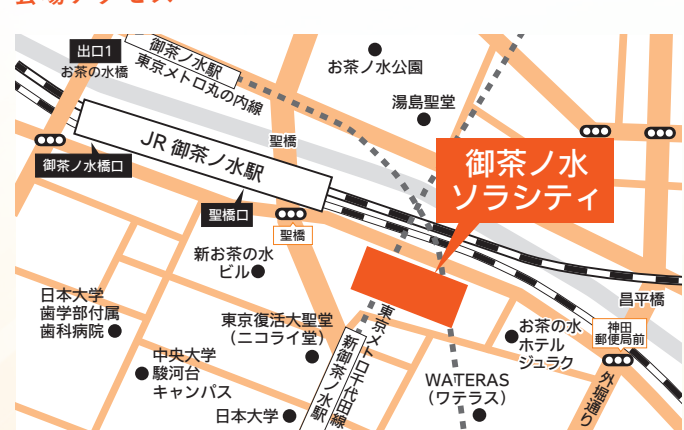
Officer

フォーラム実行委員会メンバー

委員長	公益社団法人 日本損害鑑定協会	副会長	田中 公成
委員	公益社団法人 日本損害鑑定協会	理事	田辺 克久
委員	株式会社 トラストクレームサービス		丹羽 周一
委員	東京損保鑑定 株式会社		藤 得 牧

Member

会場アクセス



- 電車をご利用の場合
 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」 B2出口より徒歩約1分
 東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」 出口1より徒歩約4分
 JR中央・総武線「御茶ノ水駅」 聖橋口より徒歩約1分

※五十音順

2024
11.2 (土)
10:00~17:00
(開場9:30)

会場 御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター 2F
 「sola city Hall」
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6

Message

会長メッセージ



公益社団法人 日本損害鑑定協会
会長 太田 英俊

10周年を迎えて

この度は、第10回となる損害鑑定フォーラムにご参加いただき、誠に有難うございます。みなさまには平素より積極的なご協力とご支援をいただき、心から感謝と御礼を申し上げます。2014年に開催を始めた「損害保険鑑定人フォーラム」は、2021年から名称を「損害鑑定フォーラム」に変え、今年で第10回を迎えることとなりました。途中、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催を延期せざるを得なかったこともございましたが、一昨年には、会場参加とWeb配信を合わせたハイブリッド方式として開催を続けております。

本フォーラムは損害鑑定の健全な発展を目的とし、損害鑑定に関する専門知識や研究結果等の情報共有を行う場として、さまざまな課題に対する情報発信を行っています。

公益性、鑑定技能、新機軸といった観点に基づいて、「地震」や「洪水」、「モラルリスク」の他、「海外の資格制度」、「損害保険における事故性」、「AI」、「劣化と保険事故」、「特定修理業者対応」、「物価変動と消費税」、「太陽光発電と産業廃棄物処理」等、時宜にかなったテーマを選定してまいりました。

今回のフォーラムは第10回となりますので、記念大会と位置づけ、メインテーマを『「飛翔」～記録と記憶を次の世代に～』とし、過去を振り返り、未来を考察することといたしました。

前半では、過去9回のアーカイブの中から、「地震関連」と「不正疑義対応」の2テーマを取り上げ、現在を見つめ直します。後半では、「損害鑑定人の将来像」について、ベテラン鑑定人へのインタビューや外部識者も交えながら、パネルディスカッションを通じて探っていきたくと考えております。

昨今は損害保険を取り巻く環境に対して厳しい声も聞かれます。当協会ではこのようなフォーラムや各種研修等を通じ、業界の健全な発展と、国民生活の安定・向上に貢献すべく、活動を進めて行く所存でございますので、今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

プログラム

総合司会 株式会社 三和鑑定事務所 押谷 将
株式会社 デーエム 丹野 あすか
※プログラムの内容は、事情により変更が生じる場合があります。(敬称略)

- 10:00-10:20** ◆ **オープニング**
開会挨拶
祝辞
公益社団法人 日本損害鑑定協会 会長 太田 英俊
一般社団法人 日本損害保険協会 専務理事 大知 久一
Australasian Institute of Chartered Loss Adjusters
会長 Nicholas Ackers
内山鑑定株式会社 代表取締役 内山 真
- 10:20-10:30** ◆ **第1回から第9回のアーカイブ**
損害鑑定フォーラム実行委員 丹羽 周一
- 10:30-11:45** ◆ **I. 次代につなぐ志 (1) 過去の地震を未来の自信に**
過去の“地震”の鑑定経験をもとに、未来の“自信”につなげるにはどうすべきか考察する。
【協力いただいた方】-----
株式会社 アスカ総合鑑定 山本 浩貴
株式会社 三和鑑定事務所 辰巳 雄一郎
【ワーキンググループ】-----
(リーダー) 株式会社 甘糟鑑定事務所 工島 浩資
株式会社 山貴総合鑑定 森 貴史
株式会社 名 鑑 山川 僚介
株式会社 高本損害鑑定事務所 山本 幸
- 11:45-13:00** ◆ **休憩** 協賛企業紹介・新会員紹介・新理事紹介
- 13:00-14:45** ◆ **I. 次代につなぐ志 (2) 先駆者の目線から知る、事案と物事の本質**
過去、最も多く取りあげた不正請求疑義事案への、今後の対応を考察する。
【協力いただいた方】-----
株式会社 損害保険リサーチ 人材開発部長 松本 康則
【ワーキンググループ】-----
(リーダー) 株式会社 東 鑑 井上 恵一
株式会社 アスカ総合鑑定 鈴木 淳也
株式会社 甘糟鑑定事務所 小森 成示
株式会社 山貴総合鑑定 谷藤 央士
- 14:45-15:00** ◆ **コーヒーブレイク**
- 15:00-16:50** ◆ **II. 鑑定人の将来像 ~過去から見た未来へのヒント~**
損害鑑定人の将来はどうなるのか。変遷を交え、未来を考察する。
【協力いただいた方】-----
デロイトトーマツコンサルティング合同会社 執行役員 福島 渉
【ワーキンググループ】-----
(リーダー) 株式会社 高本損害鑑定事務所 阿高 花月
株式会社 山貴総合鑑定 飯田 篤
内山鑑定株式会社 佐藤 徳之
株式会社 中央損保鑑定 角崎 幸一郎
- 16:50-17:00** ◆ **閉会挨拶**
公益社団法人 日本損害鑑定協会 副会長 田中 公成

I. 次代につなぐ志

1. 過去の地震を未来の自信に

今年の1月1日には能登半島を震源とした地震が、8月8日には宮崎日向灘を震源とした地震が発生しました。南海トラフ地震臨時情報も発令され、近年の地震災害の増加や、今後起こり得る大規模地震に対する調査体制の検討は、われわれ鑑定人のみならず業界全体の喫緊の課題といっても過言ではありません。

過去9回開催された損害鑑定フォーラムでも、4回にわたり地震関連をテーマにしていることもあり、われわれワーキングメンバーは、過去テーマのアーカイブとして地震調査を取り上げました。

パートテーマを『過去の地震を未来の自信に』とし、ベテラン鑑定人へのインタビューを交え、過去・現在・未来の3つのパート構成で進めます。地震調査に関する知見を広げ、実務に役立つ情報を共有し、パネルディスカッションでの意見交換を通じ、さらなる理解を深め、未来へのヒントに役立て、自信へとつなげていただければ幸いです。

2. 先駆者の目線から知る、事案と物事の本質

過去9回の損害鑑定フォーラムにおいて、不正請求・モラル対策というテーマは、第1回から毎回のように取り上げられてきました。

これは、不正請求・モラル対策に対して、鑑定人の関心や意識が高いことと同時に、根絶が難しく、形を変えながら多数存在し続けていることを反映していると思われます。

今回は、「先駆者の目線」として、パネリスト等としてご活躍いただいていたベテラン鑑定人にインタビューでご出演、「事案と物事の本質」を学ぶため、鑑定人とは違う切り口として、損害保険リサーチの松本様にご講演をいただきます。後半のパネルディスカッションでは、松本様の視点から、鑑定人の仕事に対する率直なご意見などもいただきつつ、不正請求を減らすために、われわれにどのようなことができるかを考えていきます。

お二人の貴重な知識や経験を継承し、明日の熱意や発見につなげていきたいと考えています。

10:30-11:45



株式会社 甘糟鑑定事務所
リーダー 工島 浩資

13:00-14:45



株式会社 東鑑
リーダー 井上 恵一

II. 鑑定人の将来像

～過去から見た未来へのヒント～

15:00-16:50



株式会社 高本損害鑑定事務所
リーダー 阿高 花月

「損害保険登録鑑定人」… 呼び名は変われど、この職業が日本で生まれ約80年が経とうとしています。この80年で社会は激変し、損害鑑定業界も大きく変化してきました。

現時点でも、生成AIの登場、労働環境の変化、DX化の推進、人口減少等、私たちを取り巻く環境は刻々と変化しています。損害鑑定業界がこれからも発展していくために、私たち一人ひとは、どのような考え方や行動をとっていくべきでしょうか。

「我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」とあるフランスの作家の名画の題名から着想を得て、前半は損害鑑定業界の過去を振り返り、未来を予測するための“ヒント”を探しに行きます。

後半は、大手損害保険会社で約20年のキャリアがあり、現在はコンサルティング会社の保険インダストリー部門で活躍されている方をお招きし、損害鑑定業界と切っても切り離せない損害保険業界の今後の動きを知ることから始めます。その後、前半パートと多くの方々にご協力いただいた事前アンケートの結果を踏まえ、鑑定人の将来像や業界動向について、深くディスカッションを進めていきます。

漠然とした“未来”が少しでも鮮明になり、日々の業務を前向きに取り組めるようになることで、皆さまが行く先も損害鑑定人として力強く、輝く一助となれば幸いです。

携帯電話、スマートフォンからQRコードを読み取り、表示されたアンケート画面にて、ご回答ください。

パソコンでお答えいただく方、またはQRコード読取機能がない方は、「<https://x.gd/Jknm8>」よりご回答をお願いします。

今後の参考とさせていただきますので、是非、ご協力ください。



フォーラムアンケート
QRコード

アジア航測 株式会社

<http://www.ajiko.co.jp/>

アジア航測は能登半島地震における日本損害保険協会の共同調査支援を行い、地震保険金の支払い迅速化に貢献しました。
当社は調査のための資料収集やデータ作成・環境整備・アプリ操作支援などを実施。GISアプリケーション「ArcGIS Pro」の2画面連動機能や被災前後の航空写真を活用し、津波流失・火災焼失・建物倒壊の被害度合の判読作業が進められました。効率化を図ったこの取り組みを通じ、地震保険の損害調査・保険金支払の迅速化に貢献いたしました。
倒壊建物を対象とした共同調査は損害保険業界として今回が初めてです。今後も大地震に備えたより良い共同調査のために、当社は引き続き支援を行ってまいります。

オンラインでの技術紹介や商談などを承っております。お気軽にご連絡ください。
<https://www.ajiko.co.jp/online>



オーセブン 株式会社

<https://www.o-seven.co.jp/>

オーセブンはリフォーム・住宅・エクステリアの最新のCAD・提案ツールを自社で設計・開発しています。
iPad 専用アプリ「SpeedPlanner (スピードプランナー)」は住宅プランの間取り作成ツールです。iPad と ApplePencil で、なめらかに、思いのままに線を引いていただくと同時に間取りになる。今まで紙と鉛筆、または事務所に帰ってパソコンで描いていた作業が、現場で完了します。多忙な皆様の日々の業務を「楽」にすることができるツールです。DXF、JW データに変換も可能です。現在すでに多くの損害鑑定事務所の方々にお使いいただいております。
損害鑑定協会会員様へ特別価格をご用意しております！
ご希望の方はアプリをダウンロード・サブスクリプションの登録を行う前にお問合せ下さい。
webpro@o-seven.co.jp



株式会社 CUBIC

<http://www.cubitech.jp/>

株式会社 CUBIC は、高所撮影・俯瞰撮影ができる高所撮影点検システムを、開発・販売しております。高所撮影点検システムは、自由に持ち運びながら、地上に設置して 11.5m の高さまで撮影できるシステムです。三階住宅をより詳細に撮影することができます。Wi-Fi デジタルカメラを使用し、簡単な操作で、高精細な撮影ができます。
住宅屋根や外壁、樋、太陽光パネル、高速道路、構築物、高所設備などの点検、災害現場や建築現場、遺跡や文化財の撮影・点検などにお使い頂いております。



株式会社 総合システムプロダクツ

<https://www.kk-ssp.co.jp/>

株式会社 総合システムプロダクツは、ユーザー企業の業務の効率化・活性化における高度戦略システムの構築、運用支援、情報機器の販売、セキュリティ対策、クラウドサービスまでトータルに提供・提案させて頂きます。
また NEC のプラットフォームパートナーとして、AI や画像認識の提案も可能です。
●電子帳簿保存法に対応したソリューションの提案も可能です。
●鑑定業向け・受注案件管理システム…案件の対応状況・進捗管理、請求書の発行が可能。
DX 情報のダウンロードサイトをご用意しております。
管理者様、ぜひご登録をお願いします。
<https://www.kk-ssp.co.jp/>

**鑑定業向け
受注案件管理システム**

『受注案件管理システム』の特長

- 鑑定人の進捗管理
- 損害保険会社の請求方法に対応
- 自由検索ツールを使用している実績管理

一般財団法人 日本建築総合試験所

<https://www.gbrc.or.jp/>

日本建築総合試験所 (GBRC) は、建築全般に関する試験・研究、評価、審査、認証等を行う公正中立な第三者機関です。このうち、耐震耐久性調査室が行う火害診断業務では、火災にあった各種建物を対象として、日本建築学会「建物の火害診断および補修・補強方法 指針・同解説」に基づく現場調査を実施しています。この調査により、対象建物の構造部材の火害等級および建物の再利用の可否を判定するとともに、補修・補強の要否を判断するための資料をご提供します。さらに、火害診断後には、構造部材の復旧計画の技術監修や復旧工事の現場確認を第三者機関の立場で行うなど、お客様のご要望に応じた業務も提案させていただきます。



株式会社 フランクリン・ジャパン

<https://www.franklinjapan.jp/>

フランクリン・ジャパンは落雷データをメインコンテンツとし、雷情報の提供を通じて、社会を雷害から守ることを目的に展開している気象情報会社です (気象庁予報業務許可第 33 号)。
全国を網羅する独自の雷観測ネットワーク (JLDN) を構築しており観測ネットワークで得られた高精度の落雷データをリアルタイムに提供し、屋外レジャー施設や工場等で人命や設備を守るための防災情報として活用されています。
全国を網羅したデータはおおよそ 20 年にわたり蓄積しており、保険会社や調査会社様に対しては落雷が所定の場所 / 日時にあったか否かの実事確認用データとして広くご利用いただいております。また、落雷データのご発注からお支払いまでを Web での一括管理とし、省力化、迅速化を実現させたサービス「落雷データ出力システム -LiDaS-」は 250 超の事務所様にて利用実績がございます。サービス導入についてご関心がございましたら是非お問い合わせください。



雷ぶらり

nat 株式会社

<https://www.natincs.com>

私たちは日本の住宅関連産業を最先端の技術でサポートするアプリ「Scanat (スキャナット)」を提供しています。
Scanat は iPhone/iPad でスキャンするだけで、同種アプリ内最高の精度での計測 (mm 単位) が可能な iOS アプリです。
簡単な操作で、屋外や屋内などの空間を高精度に記録することができます。これまで空間に関するやりとりは図面や写真、ビデオのみでしたが、Scanat はデジタル空間の構築を通じて、「まるで現場にいるかのような、現場をそのまま持ち帰るような」体験を実現します。



<https://scanat.app>



製品紹介動画

株式会社 マスタックエフ

<https://mastaxf.jp/company>

株式会社マスタックエフは、屋根・外装工事のエキスパートです。
屋根工事業業では『技術の向上』、『新たな製品』、『施工の技術開発』を通じて、お客様の大切な財産を屋根から守り、快適な日常を提案しております。
損害保険調査事業では、近年の自然災害の激甚化、頻発化により増加する屋根・外壁の損害に対し、屋根・外壁工事の専門家としての技術と経験を活かし、プロとしての見地より損害の確認・調査を行っております。
また近年問題視されている火災保険金をめぐる不正請求や、調査時に見られる様々な事象に対し、風洞実験や引抜き実験、曝露実験などの社内実験を通じて検証を行い、質の高い鑑定支援の提供を実施しております。



メインマーク 株式会社

<https://mainmark.co.jp/>

「傾いた床や建物を水平に戻すこと」「今ある床や建物を傾かせないこと」を主な事業内容とするメインマークは、業務を止めることなく傾いた床を水平に戻す「テラテック工法」をメインに、お客様のお悩みに合わせた様々な工事をご提案から調査、施工まで提供しています。
■事業内容■
土間床の沈下修正、空洞充填、建物下の地盤改良・強化、建物の傾き修正、振動解析による建物の耐震性能調査、液状化対策工事など
■特長■
メインマークには、一級建築士を始め、建築、土木、地盤、液状化、構造振動の専門家が在籍しております。建物や地盤の状況、お客様の抱えるお悩みにより、幅広い工法とサービスから最適な提案を行います。



ベルフォアアジアグループ ベルフォアジャパン 株式会社
リカバリープロ 株式会社

<https://www.belfor.com/ja/jp>
<https://recoverypro.jp/>

ベルフォアは、事故災害早期復旧サービスの提供を専門とする世界最大級の企業グループです。経験豊富な専門スタッフが現場に駆け付け、お客様の早期復旧を 24 時間 365 日対応でお手伝いします。
ベルフォアアジアは、シンガポールに本社を置き、日本、韓国、台湾、タイ、マレーシアにある拠点において、アジア全体の復旧事業を手掛けています。日本では、ベルフォアジャパンとリカバリープロが、それぞれ異なる保険会社を分担しております。

右記より、各社の情報サービスプラットフォームへの登録が可能です。



ベルフォアジャパン



リカバリープロ

